



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120575009001	科目番号	05750090
授業科目名	●日本事情		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟1		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	火曜日 8:50~10:20 & 水曜日 8:50~10:20		
授業のねらい	日本ではニートやフリーターと呼ばれる無業者や非正規雇用型の若年労働者が増えている。日本社会で増加するこうした正規の安定した職業に就いていない若者の問題を通して、日本社会の現状や問題をより深く理解する。同時にこの授業では大学におけるキャリア教育の歴史や内容、社会が若者に期待する能力や資格とは何かについて学び、将来の自己の職業や就職を考える。		
授業方法(学習指導法)	講義、ディスカッション、プレゼンテーション		
授業到達目標	キャリアの意味を正しく理解することで、留学中に勉強する授業科目内容を将来の職業選択にどう活かすかを考え、早めの準備ができるようになること。		
授業内容	第1回目 10月3日 オリエンテーション 第2回目 10月10日 ニート・フリーターの問題点 第3回目 10月17日 日本の高等教育におけるキャリア教育 第4回目 10月24日 社会人基礎力(含むアンケート調査) 第5回目 10月31日 社会人基礎力 第6回目 11月7日 私の社会人基礎力(プレゼンテーション) 第7回目 11月14日 日本の企業組織の特徴 第8回目 11月21日 日本の企業組織の特徴 第9回目 11月28日 会社選びと企業理念 第10回目 12月5日 会社選びと企業分析 第11回目 12月12日 私の会社選びと企業分析結果(プレゼンテーション) 第12回目 12月19日 企業倫理 第13回目 1月9日 VPI(職業興味検査) 第14回目 1月16日 私のVPIと職業(プレゼンテーション) 第15回目 1月23日 授業評価(まとめとアンケート調査)		
キーワード	ニート、フリーター、キャリア、社会人基礎力、企業組織、企業分析、企業理念、企業理念、VPI		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教材は必要に応じて教員が学生に配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業参加20%、レポート30%、プレゼンテーション50%		
受講要件(履修条件)	ある程度の高い日本語の理解力		
本科目の位置づけ	自分のキャリアを考えることで、留学期間中に大学で勉強する他の科目を戦略的に選択していく		
学習・教育目標	キャリアのより深い理解を通して専門知識の習得や社会参加意欲を高める		

備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	水1,水2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120589000101	科目番号	05890001
授業科目名	●日本語中級Ⅱ読解		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	1年、2年(学部所属の留学生)		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	2241		
担当教員オフィスアワー	火曜日10:30~12:00、木曜日10:30~12:00		
授業のねらい	日本の文化や社会のさまざまな側面を取り扱った文章を素材に、学習者に中級後半レベルの日本語運用能力(読む力、聴く力、話す力、書く力)をバランス良く習得させる。		
授業方法(学習指導法)	教室活動は、以下のような要領で構成する。(1)キーワードを出発点に本文の内容についてさまざまな視点から推測する能力を養う。(2)読解活動を通して本文の内容の理解を深める。(3)理解した内容に基づいて学習者同士が話し合う。(4)学習者の国の事情などについても話し合う。(5)テーマについて意見を述べたり書いたりする活動をする。		
授業到達目標	中級後半の多様な種類の文章が読める。テーマの内容について仲間と話し合うことができる。あるテーマについてまとまった意見を述べたり、書いたりすることができる。		
授業内容	週2コマ 第1週 4月11日 オリエンテーション/第1課 色 第2週 4月18日 第1課 色/第2課 ユーモア・ジョーク 第3週 4月25日 第2課 ユーモア・ジョーク 第4週 5月 2日 第3課 制服 第5週 5月 9日 第3課 制服/第4課 算数 第6週 5月16日 第4課 算数 第7週 5月23日 第5課 遊びと運動 第8週 5月30日 第5課 遊びと運動/第6課 お金 第9週 6月 6日 第6課 お金 第10週 6月13日 第7課 水 第11週 6月20日 第7課 水/第8課 遺産 第12週 6月27日 第8課 遺産 第13週 7月 4日 第9課 漫画・アニメ・本 第14週 7月11日 第9課 漫画・アニメ・本/第10課 ヒトと動物 第15週 7月18日 第10課 ヒトと動物 第16週 7月25日 試験/学生による授業評価		
キーワード	日本の文化・社会の諸相、読む、聴く、話す、書く		
教科書・教材・参考書	『中級を学ぼう 中級中期』(スリーエーネットワーク)		
成績評価の方法・基準等	予習10%、授業への参加度30%、作文30%、発表30%を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験N2合格程度の日本語能力を有する留学生		
本科目の位置づけ	中級後半レベル		

学習・教育目標	日本語能力試験N1合格程度の日本語能力(語彙・読解・文法・聴解の習得)に向けて学習する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3,水4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120589000401	科目番号	05890004
授業科目名	●日本語上級 I S		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	819-2242		
担当教員オフィスアワー	水曜5限		
授業のねらい	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(特に読解能力)を習得する。		
授業方法(学習指導法)	現代日本について書かれたさまざまな種類の文章を読む。基本的には教科書の科に沿って授業を進める。授業では、①本文内容の理解、②文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習、③内容確認、④本文の内容に関するディスカッション等を行う。		
授業到達目標	上級レベルの文法や語彙・表現を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション・第1課	
	2	第1課	
	3	第2課	
	4	第3課	
	5	第4課	
	6	第5課	
	7	第6課	
	8	テスト①・復習	
	9	第7課	
	10	第8課	
	11	第9課	
	12	第10課	
	13	第11課	
	14	第12課	
	15	テスト②・復習	
16			
キーワード	上級レベル、読解能力		

教科書・教材・参考書	『学ぼう！日本語中上級(日本語能力試験N1対応)』専門教育出版
成績評価の方法・基準等	授業参加の積極性20%、宿題20%、テスト60%
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当、または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1795秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火3,火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120589000703	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	1年, 2年(学部所属の留学生)		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	2241		
担当教員オフィスアワー	火曜日10:30~12:00、木曜日10:30~12:00		
授業のねらい	現代日本社会を反映した文章を素材に、大学生活に必要な日本語の総合的な技能(読む力、考える力、調べる力、書く力、話す[発表する]力)を身につけさせる。		
授業方法(学習指導法)	以下のような要領で授業を展開する。(1)各テーマについて背景となる基本的な情報を提供する。(2)難解語などをわかりやすく解説する。(3)受講生に適当な長さの文章を音読させ、要旨を述べさせる。(4)質疑応答により、受講生の理解度を確認する。(5)読後の感想や意見を述べさせる。(6)発表のためのテーマを決めさせ、作文を書かせ、数回にわたり添削を繰り返し、完成した文章に基づいて練習をさせ、最終的に発表をさせる。		
授業到達目標	論理的に構成された文章が読める。論理的に考えることができる。あるテーマについてまとまった文章を書くことができる。意見や主張を論理的に述べることができる。		
授業内容	週2コマ 第 1回 4月10日 オリエンテーション／大学で何を学ぶべきか 第 2回 4月17日 小学校の英語教育をどうするか 第 3回 4月24日 子供のケータイは是か非か 第 4回 5月 1日 人はなぜ自殺するのか 第 5回 5月 8日 有効なニート支援とは(1) 第 6回 5月15日 有効なニート支援とは(2) 第 7回 5月22日 犯罪少年の更生は可能か(1) 第 8回 5月29日 犯罪少年の更生は可能か(2) 第 9回 6月 5日 犯罪少年の更生は可能か(3) 第10回 6月12日 日本経済の極意とは 第11回 6月19日 復習／表現演習 第12回 6月26日 表現演習 第13回 7月 3日 表現演習 第14回 7月10日 発表・質疑応答 第15回 7月17日 発表・質疑応答		
キーワード	日本社会の諸相、読む、考える、調べる、書く、意見を述べる		
教科書・教材・参考書	『日本の論点2007／2010』から抜粋した文章など		
成績評価の方法・基準等	授業への参加度(予習を含む)40%、作文30%、発表30%を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験N1合格程度の日本語能力を有する留学生		
本科目の位置づけ	上級日本語		

学習・教育目標	学部生として豊かで実りのある大学生活を送るために必要な日本語能力を習得する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3,木4																																
開講期間																																			
必修選択	選択	単位数	2.0																																
時間割コード	20120589000702	科目番号	05890007																																
授業科目名	●日本語上級ⅡS																																		
編集担当教員	茅田 美有紀																																		
授業担当教員名(科目責任者)	茅田 美有紀																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	茅田 美有紀																																		
科目分類	留学生用科目																																		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																																
教室	[全]103																																		
対象学生(クラス等)	全学部																																		
担当教員Eメールアドレス	miyut@nagasaki-u.ac.jp																																		
担当教員研究室	留学生センター二階																																		
担当教員TEL	095-819-2240																																		
担当教員オフィスアワー	水曜日3、4校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)																																		
授業のねらい	今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。																																		
授業方法(学習指導法)	読解、作文、ディスカッション、発表。グループ活動あり。																																		
授業到達目標	時事問題や専門的な内容についての記事を理解するだけでなく、自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。グループで話し合っ意見をまとめ、発表できるようになる。																																		
授業内容	<p>第2回から第8回まではライティングの学習を、第9回から第15回までは発表の学習をします。毎回のライティング、発表を評価の対象とするので、欠席すると、その回の評価は0点です。課題は一週間遅れて提出したら1/2点、それ以上遅れたり、指示と違うものを提出したりした場合は0点です。毎回まじめに授業に参加しなければ落ちると思ってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月5日:オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月12日 ライティング1</td></tr> <tr><td>3</td><td>4月19日 ライティング2</td></tr> <tr><td>4</td><td>4月26日 ライティング3</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月10日 ライティング4</td></tr> <tr><td>6</td><td>5月17日 ライティング5</td></tr> <tr><td>7</td><td>5月24日 ライティング6</td></tr> <tr><td>8</td><td>5月31日 ライティング7</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月7日 発表1</td></tr> <tr><td>10</td><td>6月14日 発表2</td></tr> <tr><td>11</td><td>6月21日 発表3</td></tr> <tr><td>12</td><td>6月28日 発表4</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月5日 発表5</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月12日 発表6</td></tr> <tr><td>15</td><td>7月19日 発表7</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月5日:オリエンテーション	2	4月12日 ライティング1	3	4月19日 ライティング2	4	4月26日 ライティング3	5	5月10日 ライティング4	6	5月17日 ライティング5	7	5月24日 ライティング6	8	5月31日 ライティング7	9	6月7日 発表1	10	6月14日 発表2	11	6月21日 発表3	12	6月28日 発表4	13	7月5日 発表5	14	7月12日 発表6	15	7月19日 発表7
回	内容																																		
1	4月5日:オリエンテーション																																		
2	4月12日 ライティング1																																		
3	4月19日 ライティング2																																		
4	4月26日 ライティング3																																		
5	5月10日 ライティング4																																		
6	5月17日 ライティング5																																		
7	5月24日 ライティング6																																		
8	5月31日 ライティング7																																		
9	6月7日 発表1																																		
10	6月14日 発表2																																		
11	6月21日 発表3																																		
12	6月28日 発表4																																		
13	7月5日 発表5																																		
14	7月12日 発表6																																		
15	7月19日 発表7																																		

	16
キーワード	読解、作文、ディスカッション、発表
教科書・教材・参考書	教材:「留学生のための日本語作文演習(中上級用)-第5版-」(初回に配布)、新聞記事など(毎回配布)。 参考図書:「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税
成績評価の方法・基準等	授業への参加度10%、課題 20%、発表35%(毎回5%×7回)、ライティング35%(毎回5%×7回) ※出席:遅刻三回で欠席一回とみなします。 ※レポート・発表は辞書を使ってもかまいません。インターネットや本の文を使うときは引用文の後ろに( )を書いて、著者名と書かれた年を書き、最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽竊(ひょうせつ)とみなし、単位を出しません。
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3,金4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120589000701	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	火曜日 8:50~10:20 & 水曜日 8:50~10:20		
授業のねらい	労働基準法や会社の就業規則等の概要を学び、将来日本で働く場合の労働者としての基本的な法律上の権利や義務を理解する。		
授業方法(学習指導法)	講義、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション		
授業到達目標	日本で就職することを前提にして、労働法や就業規則の基本的な内容を勉強し、労働者としての地位や身分をどのように守っていくかを考える。		
授業内容	<p>日本で就職する場合、就職活動から入社して働く過程でどのような労働契約がなされ、労働者としての権利や義務が発生するかを学ぶ。</p> <p>第1回 4月6日 オリエンテーション、社会人基礎力アンケート調査、私の留学目的と就職について  第2回 4月13日 労働基準法の概要  第3回 4月20日 社員募集と採用  第4回 4月27日 社員募集と採用  第5回 5月11日 労働時間  第6回 5月18日 人材活用  第7回 5月25日 人材活用  第8回 6月1日 給与と税金  第9回 6月8日 退職と解雇  第10回 6月15日 退職と解雇  第11回 6月22日 就業規則  第12回 6月29日 就業規則  第13回 7月6日 日本の社会保険制度  第14回 7月13日 日本の社会保険制度  第15回 7月20日 まとめと授業評価</p>		
キーワード	労働基準法、内定、退職、解雇、就業規則		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教材は必要に応じて教員が学生に配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業参加20%、レポート30点、小テスト30点、プレゼンテーション20点		
受講要件(履修条件)	上級日本語能力		
本科目の位置づけ	将来日本での就職を考えている学生に労働に関する日本の法律の理解を促す		
学習・教育目標	労働者の法律上の権利や義務を通して日本社会を理解する		

備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3,火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120589001001	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級ⅡA		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟1		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	火曜日 10:30~12:00 & 水曜日 8:50~10:20		
授業のねらい	日本の社会は1990年代のバブル経済の崩壊後、経済が低迷し格差と貧困が急速に拡大していると言われていて、日本の社会に今何が起きているのか、なぜ格差や貧困は拡大するのか、様々な文章を読んで考える。理解した内容に基づいてディスカッションやプレゼンテーションを行い、日本語の表現能力を高める。		
授業方法(学習指導法)	講義、ディスカッション、プレゼンテーション		
授業到達目標	特定のテーマに関する文章を読み、日本語の読解力や表現力を高める。		
授業内容	第1回 10月2日 オリエンテーション+DVD視聴 第2回 10月9日 格差と貧困1 文章読解とディスカッション 第3回 10月16日 格差と貧困2 文章読解とディスカッション 第4回 10月23日 格差と貧困3 文章読解とディスカッション 第5回 10月30日 格差と貧困4 文章読解とディスカッション 第6回 11月6日 格差と貧困5 文章読解とディスカッション 第7回 11月13日 格差と貧困6 文章読解とディスカッション 第8回 11月20日 格差と貧困7 文章読解とディスカッション 第9回 11月27日 格差と貧困8 文章読解とディスカッション 第10回 12月4日 格差と貧困9 文章読解とディスカッション 第11回 12月11日 格差と貧困10 文章読解とディスカッション 第12回 12月18日 格差と貧困11 文章読解とディスカッション 第13回 1月8日 格差と貧困12 文章読解とディスカッション 第14回 1月15日 格差と貧困13 文章読解とディスカッション 第15回 1月22日 まとめと授業評価		
キーワード	格差と貧困		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。教員が授業で使用する教材のプリントを適宜配布する。		
成績評価の方法・基準等	出席20%、レポート60%、プレゼンテーション20%		
受講要件(履修条件)	十分な日本語の読解力		
本科目の位置づけ	格差や貧困を通して日本社会の現状や問題点をより深く理解し、他の関連科目への学習意欲を高める		
学習・教育目標	一つのテーマを深く理解し、議論し自分の意見をまとめ発表する		
備考(URL)			
備考(準備学習等)			



---

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木3,木4	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	2.0	
時間割コード	20120589001002	科目番号	05890010	
授業科目名	●日本語上級ⅡA			
編集担当教員	永井 智香子			
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子			
科目分類	留学生用科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目	
教室	[全]新棟1			
対象学生(クラス等)	留学生			
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	永井研究室			
担当教員TEL	095-819-2239			
担当教員オフィスアワー	金曜 2校時目			
授業のねらい	テレビのドキュメンタリー番組を10分程度に編集したものを教材とし、日本語の4技能を高めることを目標としている			
授業方法(学習指導法)	<p>基本的には以下のように進める</p> <p>①その日に視聴するビデオの内容について話し合う</p> <p>②語彙、文法事項の確認</p> <p>③ビデオの内容についての質問の確認</p> <p>④1回目のビデオの視聴</p> <p>⑤ビデオの内容についての質問に答える</p> <p>⑥質問の答えを書いて提出</p> <p>⑦スクリプトを配布</p> <p>⑧2回目のビデオの視聴</p>			
授業到達目標	視聴した内容を要約して正確に書き言葉で表すことができる			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	オリエンテーション ビデオを使ってのウォーミングアップ	17	小テスト ビデオを使った授業
	2	書き言葉の復習	18	ビデオを使った授業
	3	書き言葉の復習	19	小テスト ビデオを使った授業
	4	書き言葉の復習	20	ビデオを使った授業
	5	ビデオを使った授業	21	小テスト ビデオを使った授業
	6	ビデオを使った授業	22	ビデオを使った授業
	7	小テスト ビデオを使った授業	23	小テスト ビデオを使った授業
	8	ビデオを使った授業	24	ビデオを使った授業
	9	小テスト ビデオを使った授業	25	小テスト ビデオを使った授業
	10	ビデオを使った授業	26	ビデオを使った授業

	11	小テスト ビデオを使った授業	27	小テスト ビデオを使った授業
	12	ビデオを使った授業	28	ビデオを使った授業
	13	小テスト ビデオを使った授業	29	小テスト ビデオを使った授業
	14	ビデオを使った授業	30	ビデオを使った授業 学生による授業評価
	15	小テスト ビデオを使った授業	31	
	16	ビデオを使った授業		
キーワード	ビデオ視聴			
教科書・教材・参考書	プリント教材			
成績評価の方法・基準等	小テスト、提出物、出席等で評価する。詳しくは初日のオリエンテーション時に示す			
受講要件(履修条件)	学部正規留学生、または学部所属交換留学生であること			
本科目の位置づけ	全学教育留学生用科目			
学習・教育目標	日本語力を高める。日本の高度経済成長についての知識を得る			
備考(URL)				
備考(準備学習等)				



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_留学生用科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3,金4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120589001003	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級ⅡA		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟1		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階		
担当教員TEL	819-2242		
担当教員オフィスアワー	金曜3限		
授業のねらい	日本の大学の学部レベルで講義を受けたり、ゼミに参加したりする際に必要な総合的な日本語能力を要請する。		
授業方法(学習指導法)	各回2コマ。発表と発表のテーマに関する討論を行う。学生は2-4人でグループを組み、発表の担当者として順番に発表と発表内容に沿った討論の司会進行役を務める。基本的に学期中に2回発表の担当を課す。発表担当者は必要な資料を用意し、担当教員に事前に発表内容に関するチェックを受けなければならない。		
授業到達目標	発表の方法や討論の際に必要な表現を学び、日本語で自分の考えをまとめて発表したり、その内容について討論したりすることができるようになることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション(グループ分け等)	
	2	発表の仕方(発表に必要な表現、注意事項等)	
	3	発表の仕方(モデル授業)	
	4	発表・討論	
	5	発表・討論	
	6	発表・討論	
	7	発表・討論	
	8	発表・討論	
	9	テスト①・復習 2回目の発表の準備(1回目の発表に関する振り返り等)	
	10	発表・討論	
	11	発表・討論	
	12	発表・討論	
	13	発表・討論	
	14	発表・討論	
15	テスト②・復習、 まとめと評価		

	16
キーワード	発表、ディスカッション
教科書・教材・参考書	新聞記事、ハンドアウト等
成績評価の方法・基準等	発表及びその準備40%、討論への参加状況30%、テスト30%
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.